

2018年10月10日

会員の皆様へ

公益社団法人日本理学療法士会  
スポーツ支援推進執行委員会委員長 梶村政司

東京 2020 オリンピック・パラリンピック選手村内診療所・競技場などで活動する  
スタッフ(理学療法サービススタッフ)の募集

本会は東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会組織委員会（以下、組織委員会）から正式な依頼を受け、選手村内診療所などで活動する理学療法サービススタッフの人材募集を支援することとなりました。この活動に参加を希望する方を公募致しますので、添付の募集要件を参照の上、下記のように登録・申込みをしてください。本会内で申請書類等を精査して理学療法サービススタッフ候補者を組織委員会に推薦致します。

記

<募集内容>

- ・活動期間：2020年7月8日（水）～9月9日（水）（予定）
- ・活動場所：選手村診療所（晴海）  
セーリング村（大磯）、サイクリング村（伊豆）の医務室  
各競技会場・練習会場の選手用医務室や競技エリア 等
- ・募集人数：最大 500 名程度（最終決定は組織委員会にて行われます）

<登録>

- ・期 間：2018年10月10日（水）～11月30日（金）
- ・方 法：以下の登録フォームより必要事項をご入力下さい。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScH2m12Snf6aiHBCnYPuxxf0staQi48bHW4Q\\_6Um5X4s5H9-g/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScH2m12Snf6aiHBCnYPuxxf0staQi48bHW4Q_6Um5X4s5H9-g/viewform?usp=sf_link)

<申請書受付>

- ・期 間：2018年10月22日（月）～12月14日（金）
- ・方 法：マイページより申請書をダウンロードし作成して下さい
- ・提 出 先：スポーツ理学療法総務小委員会  
[staff-pt@japan-pt.org](mailto:staff-pt@japan-pt.org)

<結果通知>

- ・活動に関する最終的な採用の決定は組織委員会が行ない、結果は2019年2月以降（予定）に通知されます。

<問い合わせ先>

- ・スポーツ理学療法総務小委員会（板倉尚子・野々山真樹）  
[sp-soumu@japan-pt.org](mailto:sp-soumu@japan-pt.org)

※①募集要件、②申請書、③申請書記入時の注意事項はマイページからダウンロードして下さい。

以上

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会  
理学療法サービススタッフ参加応募の要件

(公社) 日本理学療法士協会  
スポーツ支援推進執行委員会

1. 日本理学療法士協会の会員であること。
2. 応募時に理学療法士資格取得後5年以上経過していること。
3. 応募時に3年以上のスポーツ分野の実務経験、あるいはパラリンピックに関わる分野(例: 切断、脊髄損傷、視覚障害、神経学的障害、等)の実務経験を有すること。
4. 日本理学療法士協会新人プログラムを修了していること。
5. 外国語に関する一定の語学力を有していること。
6. 業務に関する知識・技能を有していること。  
次の①～④について、申請書への記載内容から確認
  - ①救急処置に関する資格、認定
  - ②アンチドーピングに関する知識(関係する講習会の受講等)
  - ③業務に関する理学療法士以外の資格、認定
  - ④スポーツ理学療法研修会(総論、基礎、応用)の受講(修了見込み)
7. 次の期間中7日間以上の活動が可能であること。
  - ・オリンピック大会日程 : 2020年7月24日(金)～8月9日(日)
  - ・パラリンピック大会日程 : 2020年8月25日(火)～9月6日(日)※・いずれも大会日程前2週間、後1週間程度も活動期間となる予定。
  - ・勤務時間は1シフト9時間を予定。
8. 宿泊や移動については、自身で確保、準備ができること。  
※・組織委員会から報酬の支払いはなし。

●組織委員会による審査の結果、理学療法スタッフとして選考された際には、  
次の事項を遵守、遂行できること。

1. 日本理学療法士協会会長への誓約書の記載、提出
2. 日本理学療法士協会が指定するオリ・パラ理学療法サービス事業に関する損害保険への加入
3. 日本理学療法士協会が主催する準備のための指定研修会(仮称)を受講(2019年度中、1～2日間の研修会を数回実施する予定)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会  
理学療法サービススタッフ参加応募  
申請書の記入にあたって

(公社) 日本理学療法士協会  
スポーツ支援推進執行委員会

申請書の記入にあたって、下記事項をご確認の上、お間違いないようご注意ください。  
参加応募にあたっての要件を確認し、申請の可否をご判断の上、お申し込みください。

## 記載事項に関する説明

### ●2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会での活動にあたっての申請書

- 1) 所属先
  - ・主な勤務先を記入してください。

### ●理学療法サービススタッフ参加応募申込書

#### 1. 基本情報

- ・項目に従ってご記入ください。

#### 2. 大会関連情報

- 1) 参加可能日数
- 2) 参加可能な期間
  - ・オリンピック競技大会の大会日程 : 2020年7月24日(金)～8月9日(日)
  - ・パラリンピック競技大会の大会日程 : 2020年8月25日(火)～9月6日(日)
  - ※オリ、パラともに、大会前2週間、後1週間程度も活動期間となる予定。
- 3) 語学力
  - (1) 英語
    - ・英語能力試験の受験経験の有無、試験名と得点について記入してください。
    - ※受験経験が有の場合には、試験と得点を証明する書類等を添付してください。
    - ・コミュニケーション能力について、選択肢の番号を記入してください。
  - (2) その他の外国語(中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語など)
    - ・コミュニケーション能力について、選択肢の番号を記入してください。
  - (3) 海外への留学経験、海外勤務経験
    - ・経験のある方は、国名と期間について記入してください。

### 3. 業務関連情報

1) 参加分野は理学療法となります。

2) 応募分野を除く資格

理学療法士以外の資格で、次のようなものが該当します。

・国家資格：はり師、きゅう師、あん摩・マッサージ・指圧師、柔道整復師、など

・公的な団体の認定資格

：日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、NATA BOC-ATC

日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナー、など

※現在、取得見込みの場合には、次のように記載願います。

例：日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（2019年4月取得見込み）

3) 専門理学療法士、認定理学療法士の保有

・専門理学療法士：運動器、基礎、神経、内部障害、生活環境、物理療法、教育・管理

・認定理学療法士：スポーツ理学療法、運動器、呼吸、循環、神経筋障害、発達障害、  
脊髄障害、健康増進・参加、徒手理学療法、切断、補装具、  
物理療法、など

4) 国際競技大会での活動歴

・主な活動を4つまで記入してください。

・活動内容、主な手法は、各選択肢の番号を2つまで記入してください。

5) スポーツ現場での主な活動歴

・主な活動を4つまで記入して下さい。

・活動内容、主な手法、活動頻度は、各選択肢の番号を記入してください。

・活動内容と主な手法については2つまで選択してください。

6) スポーツ分野における社会活動歴

・中央競技団体や都道府県競技団体での活動、都道府県体育協会での活動、都道府県士会での活動などについて記入してください。

7) 救急処置に関する講習の受講歴

・一次救命処置に関する講習会の受講歴について記入してください。

8) アンチドーピングに関する講習の受講歴

・アンチドーピングに関する講習会の受講歴について記入してください。

9) スポーツ理学療法研修会の受講歴

・スポーツ理学療法研修会（総論、基礎、応用）の受講について、記入してください。  
基礎と応用については全日程が終了していないため、受講予定の方は「有見込」を  
選択し、受講予定日を記入してください。

### 4. 署名欄

・申請書の記載不備がないこと、申請書の記載内容に虚偽がないことをご確認の上、  
署名欄にお名前を入力してください。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会  
理学療法サービススタッフ参加応募申込書

記入日: 2018年 月 日

基本情報				日本理学療法士協会 会員番号		所属士会			
フリガナ		性別	生年月日(年齢)		専門理学療法士	認定理学療法士			
氏名		男・女	年 月 日(満 歳) ※西暦で記入		競技名	大会名等	開催国		
現住所		顔写真 カラー 背景無地 本人単身胸から上  縦 40mm 横 30mm		国際競技大会での 主な活動歴 (合宿等含)	開催年	A. 活動内容	B. 主な手法		
電話番号				スポーツ現場での 主な活動歴 (国際競技大会 除く)	年				
メールアドレス				競技名	競技レベル	活動期間	A. 活動内容	B. 主な手法	C. 活動頻度
所属先									
大会関連情報				※A、B、Cは、各選択肢から主に当てはまる回答を選んで番号をご記入ください。なお、A、Bは、2つまで選択可。					
参加可能日数	合計	参加可能な期間	<input type="checkbox"/> オリンピック(7月上旬~8月中旬)のみ <input type="checkbox"/> パラリンピック(8月中旬~9月上旬)のみ <input type="checkbox"/> オリンピックとパラリンピック両方		A: 1. 評価 2. 救急処置 3. アスレティックリハビリテーション 4. コンディショニング 5. スポーツ外傷・障害の予防 6. メディカルチェック 7. アンチドーピング指導 8. その他( )				
参加可能会場	<input type="checkbox"/> 選手村(晴海) <input type="checkbox"/> セーリング村(大磯) <input type="checkbox"/> サイクリング村(伊豆修善寺) <input type="checkbox"/> 競技会場 ※複数回答可			B: 1. 徒手療法 2. 物理療法 3. テーピング 4. エクササイズ指導 5. その他( ) C: 1. 週4回以上 2. 週1~3回 3. 月1~2回 4. 月1回未満(年に数回) 5. 大会や試合時のみ 6. その他( )					
■ 語学力について以下の質問にご記入ください									
英語のコミュニケーション能力	客観評価	試験名( ), 点数( ) ※英語能力試験の受験経験がある場合(例: TOEIC, IELTS, TOEFL CBTなど)		■ スポーツ分野における社会活動について、特記すべき事項があればご記入ください 例) 中央競技団体や都道府県競技団体での活動、都道府県体育協会での活動、都道府県理学療法士会における活動など。					
	自己評価	( ) ※下記の選択肢番号より該当項目を選択							
その他の外国語でのコミュニケーション能力	言語名	自己評価							
		( ) ※下記の選択肢番号より該当項目を選択							
<コミュニケーション能力の選択肢>				■ 救急処置の講習受講歴があればご記入ください					
1. 実際のコミュニケーションにおいてほとんど使用したことがない。 2. 入門・初級レベル: ゆっくりの会話であれば最低限のコミュニケーションが可能。 3. 中級レベル: 日常生活に必要なコミュニケーションが可能。 4. 中上級レベル: 専門的な業務に必要なコミュニケーションが可能。 5. 上級レベル: あらゆる場面で母語話者と問題なくやり取りできるスムーズなコミュニケーションが可能。				■ アンチドーピングに関する講習受講歴があればご記入ください					
海外留学経験	有・無 → 有の場合	(国名: )	期間(西暦): ~ )	講習会名		受講年	主催団体		
海外勤務経験	有・無 → 有の場合	(国名: )	期間(西暦): ~ )			年			
						年			
業務関連情報				■ スポーツ理学療法研修会の受講についてご記入ください ※西暦で記入					
参加分野	理学療法 (理学療法士)			総論	有・無	→ 有の場合	受講日 年 月 日		
資格取得年	年 ※西暦で記入	免許番号(登録番号)		基礎	有・無・有見込	→ 有または見込の場合	受講日または受講予定日 年 月 日		
業務に関する任意保険への加入	有・無	最終学歴	修士・博士 ( )	応用	有・無・有見込	→ 有または見込の場合	受講日または受講予定日 年 月 日		
応募分野を除く資格	資格名	取得年	認定団体	このたび東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での活動に関する申請書を提出するにあたり、申請書の記載不備がないこと、申請書の記載内容に虚偽がないことを誓約いたします。 なお、虚偽があったことが判明した場合、又は報告すべき事項を報告しなかったことが判明した場合には、申請が無効となっても異議は一切申し立てません。					
		年		年 月 日 署名 _____ ※本申請書に記載された個人情報、当該の審査以外には使用いたしません					
		年							
		年							
	年								
スポーツ分野・パラリンピック分野に関わる職歴	勤務先	役割・主な業務内容							